

秋厚労ニュース

1人じゃないと感じた

新入組合員 学習と交流のつとめ

6月29日（土）～30日（日）、「温泉ゆぼぼ」で第38回新入組合員学習と交流のつとめ（支部、教育宣伝部、青年部、中央執行委員会の合同開催）が行われました。今年は他行事との日程重複を避けるため、6月に開催し、150人が参加しました。

入職してのプラス面・マイナス面を共有

予定の30分前に全支部が集まり、少し早めに開会。着席した新入組合員は、「呼んでほしい名前」や趣味などを書いた名札を作ります。その間、教育宣伝部のかけ合いが会場を和ませました。

誕生月ごとのグループに分かれ、入職して感じる「プラス面・マイナス面」を付箋に書き出します。次に、書いた内容をグループ内で発表。付箋を分類して模造紙に貼り、思い思いに飾り付けます。シール、折り紙、クレヨン、写真、スタンプ、風船を駆使し、誕生月の

夕食交流会

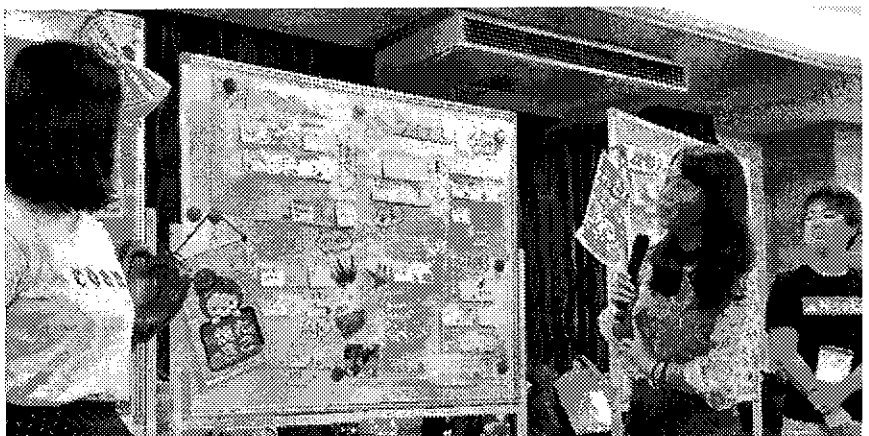
イメージを模造紙で表現したり、「インスタ映え」を目指したり。あつという間に、個性豊かな作品が12個完成しました。最初は緊張した様子の

支部の垣根をこえて交流深める

グループワークの後は、青年部企画の夕食交流会です。10人程度のグループをつくり、県内の市町村名で「ご当地ビンゴ」。「次は5番を出して！」「リーチ！」と声が上がリ、あつという間に数組がビンゴ

参加者も、徐々に打ち解け、あちこちで笑い声が飛び交います。同じ誕生日の人（12組27人）には、ちよつとしたプレゼントもありました。

かると、慌てて次の人に渡し、周りのメンバーは手を叩いて応援。手渡された人は、床に押し付けたり、両手を使ったり、必死にカウントしていました。



2つ目のゲームでは、ボードウォッチング用のカウンターを1人10秒間早押しし、グループの合計カウント数を競います。「はい、次の人！」と司会の声がか

あるグループは、他グループの3〜4倍の数字を叩き出し、「本当にできるの？」とみんなに囲まれて

「同じことを感じていた。少し安心」

検証する場面も。2次会でも、支部の垣根をこえて、夜遅くまで交流を深めました。から質問・感想を出します。「今までで一番大変だったことは？」や、「夜勤の不安等、同じことを感じた。少し安心した」「自分1人じゃないと感じた」「私も先輩に褒められると、看護師としての成長を感じて嬉しい。これから仕事も頑張りたい」など、思いを共有しました。